11月19日　きょろちゃんずGP議事録

久保、中島、丸山、村木、小川

★村木案を詰めていこう！

グローバル人材育成が目指されている。

⇒その中の流れで…留学させよう！という流れ

BUTみんな留学するのは難しい（お金の問題とか）

**PP**グローバル人材育成のために国内の資源を利用しきれていない（→できてるところもあるし、これ言えるのか？）

●慶応義塾への提言にするのはどうか？

●正規の留学生と交換留学生を区別しなきゃいけない

→交換留学生のための特別なプログラムがあるのは当然なのでは？（ちーちゃん）

●先行研究者が挙げている問題点は２段階

たから、東條：受け入れ重視で日本人の学生が国際化していない

段松：協働がなされていない

→これらから、班のメインクレームを出していけばいいのでは？

●慶應の話をするなら、どう論証するか？

アンケート、インタビュー、留学生用のシラバスとかを貰う、先行研究

●グローバル人材：特に要素Ⅰ、要素Ⅲについて言及するのはどうか？Ⅲに絞ってもいいけど（むらしほ）

→留学する目的は何ですか？就活とかにも響くのに　何をもってすれば異文化理解が深まったかどうかを測れるのか（アンケート）

→日本人が外国人と交流する機会をもつことで、グローバル人材育成につながる（今できているのか？）

送り出し置く仕出しっていわれてるけど、送り出しばっかりやるわけにはいかない。：自分たちの論を強めるため。現実的だし。

●留学＝グローバル人材育成になるという前提を示す

留学することの何がグロ人の育成になっているのか？

→現地人との交流

→それがあるんだったら日本でもできる　みたいなアンケートがほしい

●ICU、国際教養大とかをどう使うのか？

比較大学が微妙（特色ありすぎる）

海外との比較は？（タイ、ドイツ）

●高等教育でグローバル人材を育成する意義（留学）

大学という機関においてなにができるか、グローバル人材育成に貢献できるのか

高等教育進学率高く、グローバル化

高等教育には留学生が多い

●受入数が少ないことについては今回は置いとく

宿題

むらしほ：考えてくる。仮説検証の前までのレジュメつくりはじめる（次回はそこをつっこむ）

必要な情報を集める

ちーちゃん：タイ

ちかちゅ：早稲田について

ゆづ：ドイツの大学で留学生と現地大学生が一緒に学んでいる例、カリキュラムとか

おがわ：上智大国際教養、立命館アジア太平洋大　IPとか留学生とかについて